

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率

算式

【分子】 分母対象例のうち、手術年月日から数えて4日以内に
「H002運動器リハビリテーション料」を算定している患者（EFファイル）

【分母】 様式1の「医療資源を最も投入した傷病名」が次のいずれかの退院患者（ICD-10：①M2435、②M2445、③S7200、④S7210、⑤S7220、⑥S7230、⑦S7270、⑧S7280、⑨S7290、⑩S730=MDC160800）及び、当該入院期間中に「K0461（大腿）」、「K0731（股）」、「K0811（股）」のいずれか

※分母除外項目

1. 手術後3日以内に退院した患者
2. 当該入院期間中の様式1の手術情報に異なる手術日が2日以上ある

定義

大腿骨近位部骨折の入院患者のうち、手術日から4日以内にリハビリテーションが実施された患者の割合

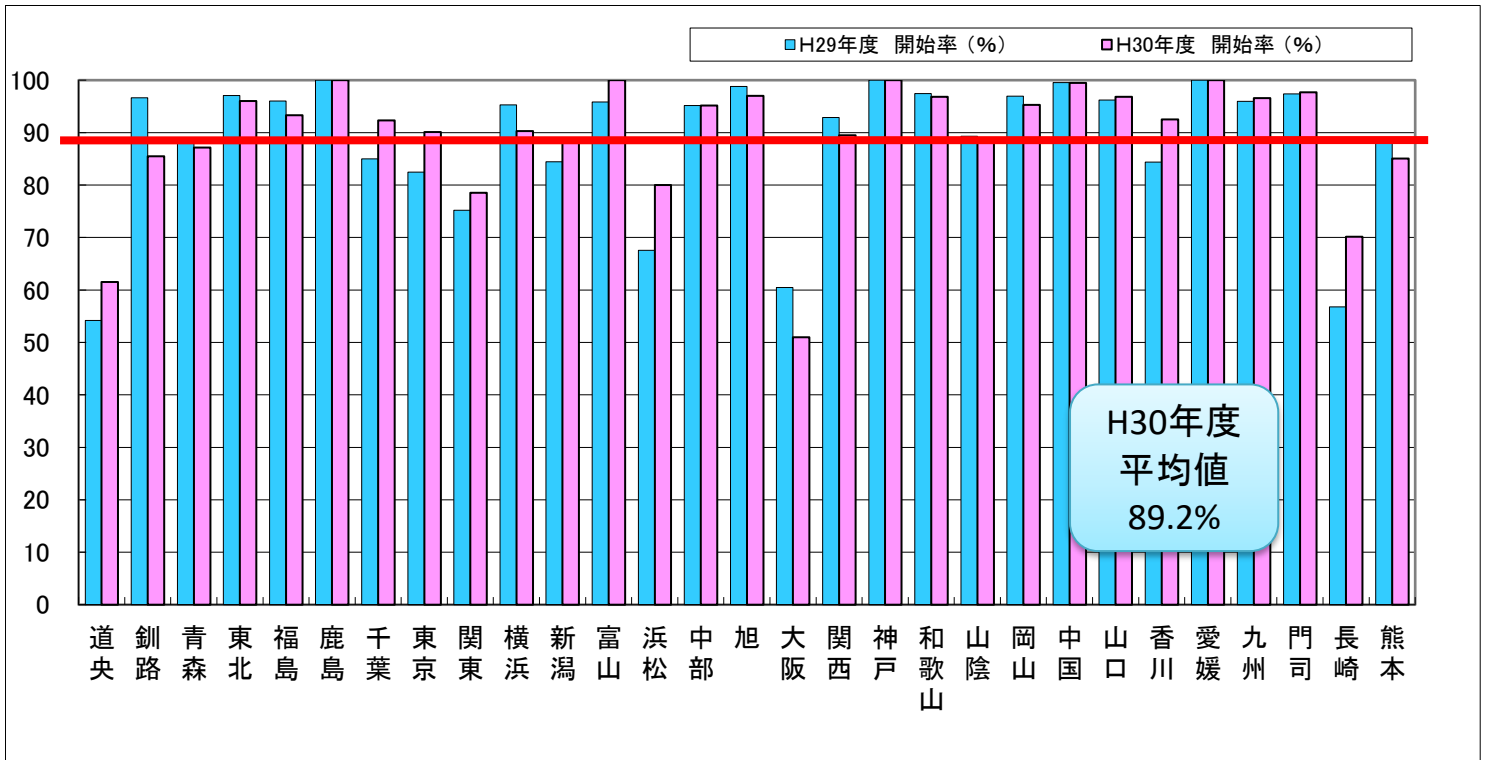
指標の解説

DPCデータより抽出

大腿骨近位部骨折患者に対して術後速やかに座位をとらせ、早期から起立・歩行を目指して下肢筋力強化訓練を行うことにより早期回復、早期退院に向けた取組を行っている状況から評価する。

実施率が高い場合には、患者の早期社会復帰に積極的に取り組んでいると評価できる。

18. 大腿骨近位部骨折患者における早期リハビリテーション開始率



No	施設名	H29年度			H30年度		
		分母	分子	開始率 (%)	分母	分子	開始率 (%)
1	道 央	24	13	54.2	13	8	61.5
2	釧 路	30	29	96.7	62	53	85.5
3	青 森	27	24	88.9	39	34	87.2
4	東 北	69	67	97.1	101	97	96.0
5	福 島	25	24	96.0	45	42	93.3
6	鹿 島	13	13	100.0	14	14	100.0
7	千 葉	40	34	85.0	78	72	92.3
8	東 京	57	47	82.5	101	91	90.1
9	関 東	137	103	75.2	177	139	78.5
10	横 浜	64	61	95.3	103	93	90.3
11	新 潟	90	76	84.4	88	78	88.6
12	富 山	48	46	95.8	69	69	100.0
13	浜 松	77	52	67.5	95	76	80.0
14	中 部	83	79	95.2	103	98	95.1
15	旭	168	166	98.8	135	131	97.0
16	大 阪	43	26	60.5	51	26	51.0
17	関 西	42	39	92.9	38	34	89.5
18	神 戸	56	56	100.0	62	62	100.0
19	和 歌 山	117	114	97.4	159	154	96.9
20	山 陰	75	67	89.3	113	100	88.5
21	岡 山	130	126	96.9	170	162	95.3
22	中 国	223	222	99.6	203	202	99.5
23	山 口	133	128	96.2	125	121	96.8
24	香 川	109	92	84.4	67	62	92.5
25	愛 媛	17	17	100.0	28	28	100.0
26	九 州	124	119	96.0	117	113	96.6
27	門 司	38	37	97.4	43	42	97.7
28	長 崎	296	168	56.8	285	200	70.2
29	熊 本	110	98	89.1	147	125	85.0
合 計		2,465	2,143	86.9	2,831	2,526	89.2
平均	500床以上	73	63	85.6	96	81	85.0
	400床以上	109	101	93.0	116	108	92.7
	300床以上	93	76	81.9	120	106	88.1
	300床未満	54	49	91.8	51	48	93.1